

産業廃棄物処理計画書

平成29年6月 日

秋田県知事  
佐竹 敬久 殿

提出者

住 所 秋田県大館市中道三丁目1番50号

氏 名 花岡土建株式会社

代表取締役 鈴木 泚士

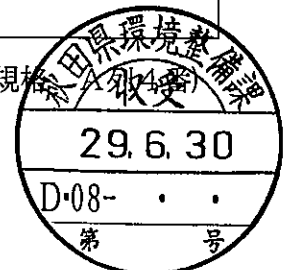
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0186-42-5391

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

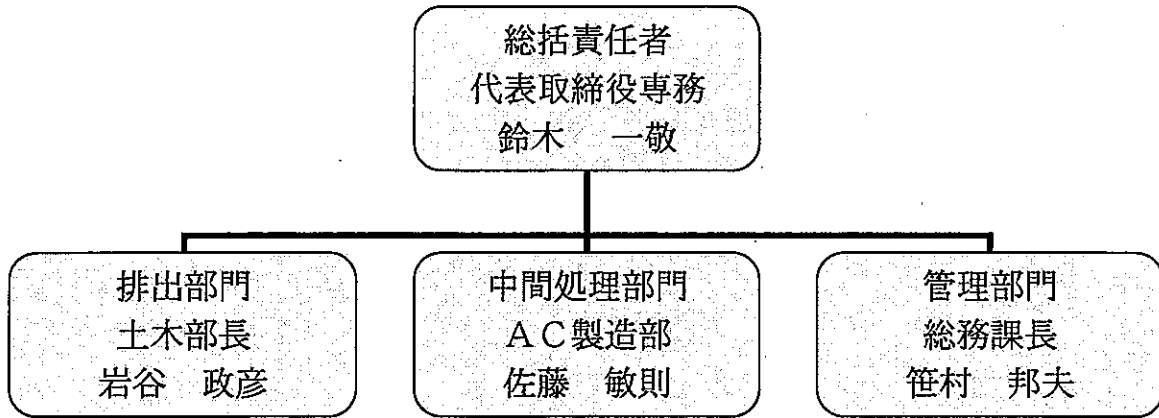
事業場の名称	花岡土建株式会社
事業場の所在地	秋田県大館市中道三丁目1番50号
計画期間	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	資本金 5千万円
③従業員数	64名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	当社から発生する産業廃棄物は、各工事現場より建設混合物、コンクリート殻、アスファルト殻、廃プラスチック類、汚泥、金属くず、紙くず、木くず等、自動車整備工場より使用済み自動車、廃油、古タイヤである。このうち、全発生量の約90%以上にあたるコンクリート殻、アスファルト殻は当社の中間処理場(破碎・熔融)で処理後、各現場で再生合材、路盤材等として再利用されるが、それ以外はほとんどが委託処理され、埋立処分される。

(日本工業規格)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃コンクリート	廃アスファルト
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2093.85 t	1771.35 t
	（これまでに実施した取組） 自社所有の中間処理施設（破碎、溶融）にて、その廃棄物全部を再生アスコン、再生骨材、再生路盤材に再資源化する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 工事の受注及び受注した現場環境により廃棄物の種類、排出量が左右されるので予想は困難であるが、これまで通りその全部を再資源化する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃コンクリート	廃アスファルト
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2093.85 t	1771.35 t
（これまでに実施した取組） 自社所有の中間処理施設（破碎、溶融）にて、その廃棄物全部を再生アスコン、再生骨材、再生路盤材に再資源化する。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃コンクリート	廃アスファルト
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） 工事の受注及び受注した現場環境により廃棄物の種類、排出量が左右されるので予想は困難であるが、これまで通りその全部を再資源化する。			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（                      年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	該当なし					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t		t			
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	該当なし					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t		t			
	(今後実施する予定の取組)						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（平成28年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス等	建設混廃
	全処理委託量	40.3 t	24.71 t	110.6 t	120.2 t	6.26t	107.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
(これまでに実施した取組) 特になし							

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス等	建設混廃
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>工事の受注及び受注した現場環境により廃棄物の種類、排出量が左右されるので予想は困難であるが、産業廃棄物が発生した場合は優良認定処理業者、再生利用業者、認定熱回収業者を優先的に利用する。</p>							
※事務処理欄							